

---

# 平成30年10月31日 平成30年度第3回健幸都市づくり推進本部会議

---

**開催日時** 平成30年10月31日(水) 午前10時10分から午前10時35分まで

**開催場所** 庁議室

**出席者** 市長、山本副市長、北中副市長、教育長、政策監、総合政策部長、総合政策部理事(情報政策・公社担当、草津未来研究所・行政経営担当)、危機管理監、総務部長(兼法令遵守監)、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、健康福祉部理事(健康福祉政策担当)、子ども家庭部長、都市計画部長、都市計画部理事(都市再生担当)、技監、建設部長、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長、監査委員事務局長

**欠席者** なし

**議事概要** 下記のとおり

## 1. 重要報告案件

---

### (1)「平成30年度健幸都市くさつの実現に向けた提案書」について

#### 【事務局から資料1、2、3に基づき説明】

・健幸都市づくり推進チームから出た提案内容については、制度設計や取組内容の精度を高めていく必要がある。検討すべき実施取組については、一旦、健康福祉部で当初予算要求時点での整理を行い予算編成過程において、各所管別予算となることを前提に庁内協議を進め、事業熟度を高めていきたいと考えている。

#### 【質疑・意見】

・「まちづくり」グループの提案内容にあるフレイル予防については、「食べる」で取り上げるのがふさわしいのではないか。「まちづくり」に入れた理由は何か。

→ロクハ荘、なごみの郷は高齢者が多く集う場であり、現在、施設の在り方検討がなされている。フレイル予防を取り入れることによって多くの高齢者が集まれるような施設にできないかと思っている。「食べる」にフレイル予防は出てこないが、高齢者の方が食を通じて歩ける筋肉をつけていただくこと等も大切であると考えているため、「食べる」に表記はしていないが、フレイルの観点も入っているので食を通じたフレイルの取組の検討も進めていきたい。

・提案書に係る各事業について、来年度予算の要求は各部局としての受け止めはどうしたらいいか。健康福祉政策課と調整を行うと共に、各部が実現性と効果の面から精査いただき、予算の中に組み込めるものがあれば工夫し、検討されたい。

→引き続き、健康福祉政策課と所管部課において、事業化に向けて調整を行っていく。

・健幸ステーションは、どのようなスケジュールで進めるのか。熟度によっては、まずは健康福祉政策課で整備を行い、発展的な部分で関係所管部課に引き継ぐのもありではないか。

→ステーションについて、市役所サロン、ロクハ荘、なごみの郷については一定の目途をもって所管部課を中心に進めていきたいと考えている。道の駅については関係機関も多いこともあり、それぞれのステーションの進捗には差が生じると思われる。道の駅についても、引き続き農林水産課はじめ関係機関と協議をしながら熟度を高めていきたい。

**【本部長(市長)から】**

・健幸都市づくりについては、市の総合政策として、全庁的に推進していくものであり、今回の提案について、各部局が主体となり、事業を組み立て、推進されたい。

また、「まち」、「ひと」、「しごと」それぞれの分野で、健幸都市づくりが進んでいくよう、引き続き、積極的な取組をお願いしたい。

**2. 報告案件**

---

**(1)平成30年度健幸都市づくり推進委員会における各委員からの意見について**

**【健康福祉部理事から資料4に基づき説明】**

**【質疑・意見】**

特段の指摘はなし。

**このページのお問い合わせ**

概要作成担当	草津市 健康福祉部 健康福祉政策課 健康福祉政策係
電話	077-561-6889
ファクス	077-561-2482
メール	kenkofukushi@city.kusatsu.lg.jp